

令和5年度決算に係る

定期監査資料

令和6年7月

教育委員会 教育環境課

## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 勧告事項	
	(2) 指摘事項	
	(3) 監査意見	
	(4) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	決算資料（総括表）	4 頁
7	事業別実施状況調べ	6 頁
8	予備費の充用調べ	8 頁
9	現金の取扱状況	8 頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
10	財産に関する調べ	9 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
11	財産の貸付け及び使用許可調べ	12 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
12	借受不動産明細調べ	13 頁
13	職員駐車場の管理状況調べ	14 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
14	寄附物件の受納状況調べ	14 頁
15	備品の処分状況調べ	14 頁
16	貸付金等状況調べ	14 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	14 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 勧告事項  
該当なし

(2) 指摘事項  
該当なし

(3) 監査意見  
該当なし

(4) 決算審査意見  
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況  
該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合 計		備 考
	6.4.1 現在	5.8.1 現在	6.4.1 現在	5.8.1 現在	6.4.1 現在	5.8.1 現在	6.4.1 現在	5.8.1 現在	
定 員	8	8	0	0	0	0	8	8	6.4.1現在 1名休職
現 員	(1) 8	( ) 8	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0	(1) 8	( ) 8	
過不足(Δ)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨 時 的 任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度 任用職員	2	1	0	0	0	0	2	1	

4 役付職員の調べ

(令和6年7月1日現在)

職 名	氏 名	在職期間		備 考
		年	月	
課長	河崎 秀幸	2	3	継続勤務: 8年3カ月
課長補佐	森田 哲	2	3	
課長補佐	松浦 広美	0	3	継続勤務: 3年3カ月

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
教育施設営繕費	1,072,017		661,000		411,017
将来ビジョン	-				
令和新时代創生戦略	大項目 - 中項目 - 小項目 - SDGsゴール 04 質の高い教育をみんなに				
政策項目	-				
1 事業の目的、概要 (1) 県立学校営繕費 県立学校の建物等の維持管理及び老朽化等の進行に伴い必要となる修繕を行い、教育施設としてふさわしい環境の整備を図る。 (2) 社会教育施設営繕費 社会教育施設の利用者の利便性向上や建物の維持管理のために必要な修繕を行う。 (3) 工事監理費 教育施設設備の改修・保全のために、設計業務、工事等の適正な進行管理を行う。					
2 事業の内容、実施の状況 (単位：千円)					
区分	事業内容	決算額			
大規模営繕 (県立学校)	5,000千円以上の工事	749,975			
一般営繕 (県立学校及び社会教育施設)	5,000千円未満の工事及び修繕	303,962			
工事管理費等	工事の執行事務に際して必要な消耗品等、システム使用料等	3,583			
老朽化部室整備事業	老朽化した米子高等学校部室を新たに整備した経費 (令和5年2月完成、リース期間：令和5年3月～令和10年2月)	14,497			
計		1,072,017			
3 事業成果 (改善状況)、課題等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで建築後50年経過を目安とした改築から目標使用年数を80年とし、財政負担の軽減を図る「鳥取県教育委員会所管施設長寿命化計画 (個別施設計画)」を令和2年3月に策定した。この計画に基づいて、中長期的な改修に係るトータル経費の縮減、財政負担の平準化を図りながら、安全・安心に利用できる環境の確保を行った。今後は、生徒減少が見込まれることから、県立学校の在り方検討の結果を踏まえながら、施設の維持、長寿命化を図っていく。</li> <li>近年の酷暑から需要が高まっている特別教室へのエアコン整備を進めるため、普通教室のエアコン整備台数を学級減等を踏まえた台数に見直し、予算の平準化を図りながら計画的に整備を行う「県立高等学校エアコン整備方針」を令和3年度に策定し、快適な教育環境の確保に取り組んだ。</li> <li>老朽化が激しい部室については、令和2年度に策定した整備方針に基づき、プレハプリース方式で整備した。間取りについても従来の部活動ごとの個室型から、複数の部が共同利用する広い間取りへの転換を図った。これにより、多人数が一度に利用するのにふさわしい環境とすることができるとともに、整備費用の縮減、今後の人口減少を踏まえた生徒減等に対応できる汎用性の高い施設となっている。引き続き、整備方針に基づき、安全で機能的な部室を整備していく。</li> </ul>					

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳																						
		国庫支出金	起債	その他	一般財源																			
海洋練習船「若鳥丸」代船建造事業	13,959				13,959																			
将来ビジョン	-																							
令和新時代創生戦略	大項目 - 中項目 - 小項目 - SDGsゴール																							
政策項目	-																							
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>境港総合技術高校において、海洋練習船「若鳥丸」を使用し海洋実習を行っている。現船は建造（平成15年3月竣工）から20年以上経過しており、経年劣化による維持管理費の増大や故障リスクも高くなっていることから、代船を建造する。 （令和4～5年度：基本設計 6～8年度：建造、9年度：代船稼働）</p> <p>2 事業の内容、実施の状況</p> <p>(1) 事業内容 (単位：千円)</p> <p>【令和4～5年度】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本設計業務</td> <td>代船建造に必要な基本設計業務（図面の作成、諸機器・設備の検討）を実施した。</td> <td>13,959</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>13,959</td> </tr> </tbody> </table> <p>【令和6～8年度（継続費）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代船建造業務 建造監督業務委託 (予算額：2,416,772千円)</td> <td>代船建造業務及び建造に伴う監督業務を実施する。 《代船の概要》（ ）内は現船 総トン数：400トン（516トン） 航行区域：国内航海（国際航海） 主要寸法：長さ約43m、幅約9m（長さ50.5m、幅9.5m） 最大搭載人員：49名〔乗組員17、教官2、生徒28、調査員2〕（68名）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代船の主な設備</p> <p>《自然環境への配慮》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低燃費、低窒素酸化物排出型エンジンの導入、集魚灯のLED化</li> </ul> <p>《船内環境の向上》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・船内Wi-Fiの整備、船内通信環境の高速・大容量化</li> <li>・女子生徒専用区画の設置、生徒室のプライバシー保護の向上</li> </ul> <p>《新たな教育課程への対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な海域で多様な漁法が学べるかご漁、底はえ縄漁の実施</li> <li>・水中ドローンの活用によるスマート水産業の習得〔地元漁協、民間業者、高等教育機関と連携〕</li> <li>・海洋調査研究に必要な計測機器〔鳥取環境大学と連携〕</li> </ul> <p>(3) 練習船を用いた教育の基本方針</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>内航船の海技士の育成</td> <td>船舶の安全な運航のための知識・技術の習得及び内航船員としての能力を習得する。 ・航路学習、入出港作業の実施、船員としての労務作業の習得 等</td> </tr> <tr> <td>地元の漁業を担う人材育成</td> <td>生産性が高く、持続可能な漁業をめざす力をつける。 ・多様な漁法の実習が可能なかご漁業、底はえ縄漁業、イカ釣り漁業の知識・技術の習得 ・漁獲物の付加価値を高める技術の習得 等</td> </tr> <tr> <td>調査研究</td> <td>生徒の探究心の向上や地域への貢献のため、県内大学、試験研究機関と連携した水産資源や海洋環境の調査研究を実施する。 ・高等教育機関との連携による海洋環境調査 ・潮流計、水温等のデータを研究機関にリアルタイムに提供するスマート水産業の推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業成果（改善状況）、課題等</p> <p>&lt;事業成果&gt;</p> <p>海洋練習船「若鳥丸」を活用し、生徒の水産・海洋関連産業への興味や探究心を深めるとともに、進路意識を高め、水産・海洋関連産業者に必要な資格取得や人材育成に取り組んでいる。</p> <p>&lt;改善状況&gt;</p> <p>代船建造検討にあたっては、地元の漁業関係者の声を聞くなど、人材育成に主眼を置いた検討を行うとともに、近年の資材高騰による船価の上昇を勘案し、生徒の安全と学習環境を重視しつつ可能な限り最新設備を取り入れながら最小限で簡素な設備とするなど、船の規模・設備の最適化とコスト縮減を図った。</p>						区分	内容	決算額	基本設計業務	代船建造に必要な基本設計業務（図面の作成、諸機器・設備の検討）を実施した。	13,959	合計		13,959	区分	内容	代船建造業務 建造監督業務委託 (予算額：2,416,772千円)	代船建造業務及び建造に伴う監督業務を実施する。 《代船の概要》（ ）内は現船 総トン数：400トン（516トン） 航行区域：国内航海（国際航海） 主要寸法：長さ約43m、幅約9m（長さ50.5m、幅9.5m） 最大搭載人員：49名〔乗組員17、教官2、生徒28、調査員2〕（68名）	内航船の海技士の育成	船舶の安全な運航のための知識・技術の習得及び内航船員としての能力を習得する。 ・航路学習、入出港作業の実施、船員としての労務作業の習得 等	地元の漁業を担う人材育成	生産性が高く、持続可能な漁業をめざす力をつける。 ・多様な漁法の実習が可能なかご漁業、底はえ縄漁業、イカ釣り漁業の知識・技術の習得 ・漁獲物の付加価値を高める技術の習得 等	調査研究	生徒の探究心の向上や地域への貢献のため、県内大学、試験研究機関と連携した水産資源や海洋環境の調査研究を実施する。 ・高等教育機関との連携による海洋環境調査 ・潮流計、水温等のデータを研究機関にリアルタイムに提供するスマート水産業の推進
区分	内容	決算額																						
基本設計業務	代船建造に必要な基本設計業務（図面の作成、諸機器・設備の検討）を実施した。	13,959																						
合計		13,959																						
区分	内容																							
代船建造業務 建造監督業務委託 (予算額：2,416,772千円)	代船建造業務及び建造に伴う監督業務を実施する。 《代船の概要》（ ）内は現船 総トン数：400トン（516トン） 航行区域：国内航海（国際航海） 主要寸法：長さ約43m、幅約9m（長さ50.5m、幅9.5m） 最大搭載人員：49名〔乗組員17、教官2、生徒28、調査員2〕（68名）																							
内航船の海技士の育成	船舶の安全な運航のための知識・技術の習得及び内航船員としての能力を習得する。 ・航路学習、入出港作業の実施、船員としての労務作業の習得 等																							
地元の漁業を担う人材育成	生産性が高く、持続可能な漁業をめざす力をつける。 ・多様な漁法の実習が可能なかご漁業、底はえ縄漁業、イカ釣り漁業の知識・技術の習得 ・漁獲物の付加価値を高める技術の習得 等																							
調査研究	生徒の探究心の向上や地域への貢献のため、県内大学、試験研究機関と連携した水産資源や海洋環境の調査研究を実施する。 ・高等教育機関との連携による海洋環境調査 ・潮流計、水温等のデータを研究機関にリアルタイムに提供するスマート水産業の推進																							

6 決算資料  
一般会計（歳入）

区分	科目	予 算			現 額		調 定 額 A	収 入 済 額 B	不 納 欠 損 額 C	収 入 未 済 額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	修正予算額	継続費及び繰越事業費繰越財源充当額	計					
	行政財産使用料	35,511,000	0	0	0	35,511,000	36,309,120	0	0		
	教育費国庫補助金	6,400,000	310,396,000	0	(144,415,000)	(144,415,000)	(119,615,000)	0	0		
	財産貸付収入	0	0	0	0	0	136,365	0	0		
	物品売払収入	959,000	0	0	0	959,000	1,350,911	0	0		
	生産物売払収入	20,460,000	0	0	0	20,460,000	19,912,347	0	0		
	雑入	17,237,000	0	0	0	17,237,000	16,605,911	0	0		
	教育債	852,000,000	288,000,000	0	(402,000,000)	(402,000,000)	(244,000,000)	0	0		
	繰越金	0	0	0	(27,953,000)	(27,953,000)	(27,953,000)	0	0		
	合 計	932,567,000	598,396,000	0	(574,368,000)	(574,368,000)	(391,568,000)	0	0		
					574,368,000	2,105,331,000	1,262,462,252	1,262,462,252	0	0	

注1 この資料は、予算科の目的で記載すること。

注2 前年度からの繰越分がある場合は、現年度分と前年度繰越分の合計額を記載し、上段に（ ）書き内数で前年度繰越分の額を記載すること。

一般会計（歳出）

区分	科目	予 算			現 額		支 出 済 額 (決算額) B	支 出 済 額 の 内 訳		翌 年 度 繰 越 額 C	差 引 残 額 (不用額) A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	修正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減		計 A	本 庁			
	事務局費	900,000	209,242,000	0	0	210,142,000	148,980,440	541,882	148,438,558	0	61,161,560	
	教育連絡調整費	830,372,000	0	0	0	830,372,000	803,154,055	5,937,549	797,216,506	0	27,217,945	
	教育財産管理費	1,544,169,000	△ 71,778,000	0	(574,368,000)	(574,368,000)	(397,125,900)	(397,125,900)	(397,125,900)	0	177,242,100	
	高等学校管理費	236,950,000	△ 4,540,000	0	0	231,805,000	1,673,236,228	240,605,766	1,432,630,462	145,565,300	227,957,472	
	施設設備整備費	28,595,000	10,217,000	0	0	39,417,000	39,006,614	12,791,174	26,215,440	0	410,386	
	特別支援学校管理費	241,396,000	0	0	0	241,396,000	235,528,764	935,826	234,592,938	0	5,867,236	
	特別支援学校費	5,451,000	420,733,000	0	0	426,184,000	524,700	0	524,700	425,139,000	520,300	
	合 計	2,887,833,000	563,874,000	0	(574,368,000)	574,368,000	(397,125,900)	(397,125,900)	(397,125,900)	570,704,300	(177,242,100)	
					574,368,000	4,026,075,000	3,128,944,482	278,338,357	2,850,606,125	570,704,300	326,426,218	

注 記載上の注意事項は歳入に準ずる。

県立学校農業実習特別会計（歳入）  
(単位：円)

区分	科目	予算			現 額		調 定 額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	繰繰費及び繰繰事業費繰繰財源充当額	計						
	生産物売払収入	34,388,000	0	0	34,388,000	34,898,269	34,898,269	0	0		
	家畜類売払収入	6,903,000	0	0	6,903,000	7,017,077	7,017,077	0	0		
	物品売払収入	1,880,000	0	0	1,880,000	1,543,515	1,543,515	0	0		
	繰越金	20,016,000	0	0	20,016,000	13,818,764	13,818,764	0	0		
	繰入	21,000	0	0	21,000	1,367,626	1,367,626	0	0		
	合 計	63,208,000	0	0	63,208,000	58,645,251	58,645,251	0	0		
	一般会計からの繰入れ理由										

注1 この資料は、特別会計ごとに別表として作成すること。(特別会計がない場合は、本表を削除する。)

2 この資料は、予算科目の目名で記載すること。

3 前年度からの繰越分がある場合は、現年度分と前年度繰越分の合計額を記載し、上段に( )書き内数で前年度繰越分の額を記載すること。

4 一般会計からの繰入金がある場合は、その理由を「一般会計からの繰入れ理由」の欄に記載すること。

県立学校農業実習特別会計（歳出）  
(単位：円)

区分	科目	予算			現 額		支出済額 (決算額) B	支出済額の内訳		年度繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	繰繰費及び繰繰事業費繰繰額	予備費支出及び流用増減	計 A		本 庁	出納機関			
	県立学校農業実習費	60,208,000	0	0	0	60,208,000	43,132,790	0	43,132,790	0	17,075,210	
	予備費	3,000,000	0	0	0	3,000,000	0	0	0	0	3,000,000	
	合 計	63,208,000	0	0	0	63,208,000	43,132,790	0	43,132,790	0	20,075,210	

注 記載上の注意事項は歳入に準ずる。

7 事業別実施状況調べ  
一般会計

(単位：円、%)

事業名	予算現額				計 A	支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、繰 越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減						
(事務局費)										
公立文教施設整備促進費	900,000	0	0	0	900,000	541,882	0	358,118	60%	公立小中学校等の施設整備に係る国庫補助事業の促進に努めた。 不用額理由：市町村への指導監督の機会が減少し、旅費の執行が減少した。
県立学校光熱費・物価高対策事業	0	209,242,000	0	0	209,242,000	148,438,558	0	60,803,442	71%	電気料金、燃料価格の高騰に伴う県立学校、教育施設の光熱費に係る経費を措置し、教育活動等に影響が生じないよう、学校や教育施設を適切に管理した。 不用額理由：光熱費の上昇が当初の見込みより抑えられたため。
目計	900,000	209,242,000	0	0	210,142,000	148,980,440	0	61,161,560		
(教育連絡調整費)										
県立学校裁量予算事業(高等学校運営費・学校独自事業)	830,372,000	0	0	0	830,372,000	803,154,055	0	27,217,945	97%	学校運営方針に沿った予算執行計画を立て、計画的な予算執行に努めた。 不用理由：独自事業の講師派遣等の減少、学校運営経費の執行残。
目計	830,372,000	0	0	0	830,372,000	803,154,055	0	27,217,945		
(教育財産管理費)										
(主)教育施設営繕費	1,325,992,000	△ 68,400,000	59,914,000	0	1,317,506,000	1,120,317,189	145,565,300	51,623,511	85%	主な事業に関する調べとおり。 不用額理由：工事スケジュール等により、2月補正時点での執行額の確定が難しかったため。 繰越理由：工事にあつての学校との調整に時間を要し、また工事に使用する資材の納期が長く年度内の工事完了が難しくなったため
教育財産管理事業費	212,895,000	△ 14,726,000	0	0	198,169,000	189,646,139	0	8,522,861	96%	県立学校の整備、電気設備及び消防設備の点検、学校敷地の借り上げなど教育財産の適正な管理に努めた。 一部、営繕課で執行。
県立学校老朽トイレ洋式化整備事業	5,282,000	0	0	0	5,282,000	4,771,800	0	510,200	90%	トイレの洋式化率が著しく低く、老朽化も著しい学校(棟)のトイレ整備を行った。
教育施設等における省エネルギー型設備導入事業費	0	11,348,000	0	0	11,348,000	9,675,600	0	1,672,400	85%	県有施設への効率的な省エネルギー型設備の導入を通じて、事業者として環境負荷の低減と管理経費の削減に努める
特別支援学校環境整備事業費	0	0	6,102,000	0	6,102,000	3,651,000	0	2,451,000	60%	不用額理由：設計業務の入札残
特別支援学校施設改修等事業	0	0	508,352,000	0	508,352,000	345,174,500	0	163,177,500	68%	不用額理由：工事の入札残。
目計	1,544,169,000	△ 71,778,000	574,368,000	0	2,046,759,000	1,673,236,228	145,565,300	227,957,472		
(高等学校管理費)										
高等学校寄宿舎運営費	48,212,000	△ 4,540,000	0	△ 605,000	43,067,000	42,032,062	0	1,034,938	98%	倉吉農業高校、鳥取中央英高校及び日野高校の寄宿舎を運営した。 流用内容：教育実習設備整備費へ流用。
高等学校農業実習費	27,329,000	0	0	0	27,329,000	27,021,696	0	307,304	99%	鳥取湖陵高校、智頭農林高校、境港総合技術高校及び日野高校で野菜・草花の圃場栽培実習や食品加工実習などを行った。
高等学校水産海洋練習船実習費	147,450,000	0	0	0	147,450,000	145,500,923	0	1,949,077	99%	境港総合技術高校海洋科の乗船実習などを行った。

7 事業別実施状況調べ  
一般会計

(単位：円、%)

事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、繰 越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰 越 額	予 備 費 支出及び 流用増減	計 A					
(主) 海洋練習船 「若島丸」代船建造 事業費	13,959,000	0	0	0	13,959,000	13,959,000	0	0	100%	主な事業に関する調べのとおり。
目 計	236,950,000	△ 4,540,000	0	△ 605,000	231,805,000	228,513,681	0	3,291,319		
(施設設備整備費)										
教育実習設備整備費	14,508,000	10,217,000	0	605,000	25,330,000	25,328,600	0	1,400	99%	高等学校において、実践的な 技術・技能を持った生徒を育 成するため、専門科目の授業 等で必要となる特殊な実習設 備を整備した。 流用内容：高等学校寄宿舎運 営費から流用。
県立学校校庭芝生化 推進事業費	14,087,000	0	0	0	14,087,000	13,678,014	0	408,986	97%	県立学校17校の芝生化グラウ ンド等の維持管理を行った。
目 計	28,595,000	10,217,000	0	605,000	39,417,000	39,006,614	0	410,386		
(特別支援学校管理費)										
県立学校裁量予算事 業(特別支援学校運 営費・指導充実費)	224,192,000	0	0	0	224,192,000	218,536,718	0	5,655,282	97%	学校運営方針に沿った予算執 行計画を立て、計画的な予算 執行に努めた。
特別支援学校寄宿舎 運営費	17,204,000	0	0	0	17,204,000	16,992,046	0	211,954	99%	鳥取盲学校、鳥取聾学校の寄 宿舎を運営した。
目 計	241,396,000	0	0	0	241,396,000	235,528,764	0	5,867,236		
(特別支援学校費)										
特別支援学校環境整 備事業費	5,451,000	420,733,000	0	0	426,184,000	524,700	425,139,000	520,300	1%	繰越理由：11月国補正で予算 化されたため、年度内の工事 完了が困難であったため。
目 計	5,451,000	420,733,000	0	0	426,184,000	524,700	425,139,000	520,300		
合 計	2,887,833,000	563,874,000	574,368,000	0	4,026,075,000	3,128,944,482	570,704,300	326,426,218		

7 事業別実施状況調べ  
県立学校農業実習特別会計

(単位：円、%)

事業名	予算現額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流出増減					
(県立学校農業実習費)									
県立学校農業実習費	60,208,000	0	0	0	43,132,790	0	17,075,210	72%	倉吉農業高校で、地域農業や時代の変化に対応した特色ある実習を行い、農業教育の充実を図った。  不用理由：本課保留額（前年度繰越金）の執行残。
			(歳出決算額内訳)						
			科目	目	決算額	事業内容			
			需用	費	36,618,060	消耗品費 7,027,998 燃料費 3,054,369 食糧費 0 印刷製本費 0 光熱水費 5,118,451 修繕料 2,240,772 飼肥料費 19,176,470			
			役務	費	4,478,207	通信運搬費 0 手数料 4,476,807 保険料 1,400			
			委託	料	11,000	死亡牛処理			
			使用料及び賃借料	費	7,986	野菜出荷箱使用料等			
			原材料	費	1,175,532	農産・畜産加工用材料等			
			備品購入	費	209,000				
			負担金、補助及び交付金		633,005	土地改良区負担金等			
			計		43,132,790				
予備費	3,000,000	0	0	0	0	0	3,000,000	0	県立学校農業実習費において、予期せぬ歳出増が生じることなく計上予算内で執行できたため、予備費の執行残が生じた。
目計	63,208,000	0	0	0	43,132,790	0	20,075,210		
合計	63,208,000	0	0	0	43,132,790	0	20,075,210		

8 予備費の充用調べ 該当なし

9 現金の取扱状況 該当なし

10 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(令和6年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(㎡)	価額(円)	増減別	異動日	面積(㎡)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(㎡)	価額(円)	
行政財産	(内訳) 八頭高等学校	八頭郡八頭町久能寺725	100,550.35	54,990,971	増加 減少	R5.6.22 R6.3.31	0.73 △ 474.00	0 △ 3,000	錯誤 用途廃止による	R R	100,077.08	54,987,971	
	米子工業高等学校	米子市博労町四丁目220	60,036.47	899,276,701	増加 減少	R5.9.27 R6.3.25	12.46 4.70	0 323,158	所管換 取得	R R	60,048.93	899,276,701	行財政改革推進課から
	倉吉農業高等学校	倉吉市大谷166	346,678.46	89,903,599	増加 減少	R5.7.5 R6.3.25	18.00 4.70	0 323,158	錯誤 取得	R R	346,696.46	89,903,599	
	岩美高等学校	岩美郡岩美町浦富708-2	42,863.54	800,000	増加 減少	R5.6.12 R6.3.12	△ 104.00 34.41	0 1,163,842.00	用途廃止による 取得	R R	42,759.54	800,000	
	米子西高等学校	米子市大谷町200	118,000.90	1,075,162	増加 減少	R4.4.1 R6.3.25	36.00 4.70	0 323,158	普通財産から 取得	R R	118,036.90	1,075,162	R6.3.22登録
	(元)境水産高等学校	境港市中野町2000	14,174.16	0	増加 減少	R6.3.6 R6.3.11	1004.99 △ 230.00	0 △ 3,439,045	錯誤 用途廃止による	R R	15,179.15	0	
	計			1,963,487.28	4,229,886,729			494.18	△ 3,000			1,963,981.46	4,229,883,729
普通財産	(内訳) 岩美高等学校	岩美郡岩美町浦富708-2	0	0	増加 減少	R5.6.12 R6.1.10	104.00 △ 104.00	0 0	行政財産から 所管換	R R	0.00	0	行財政改革推進課へ
	米子西高等学校	米子市大谷町200	36	0	増加 減少	R4.4.1 R6.3.11	△ 36.00 △ 230.00	0 △ 3,439,045	行政財産へ 解体による	R R	0.00	0	R6.3.22登録
	計		40,687.43	188,118			△ 36.00	0			40,651.43	188,118	
合計			2,004,174.71	4,230,074,847			458.18	△ 3,000			2,004,632.89	4,230,071,847	

イ 建物

(令和6年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(㎡)	価額(円)	増減別	異動日	面積(㎡)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(㎡)	価額(円)		
行政財産	(内訳) 倉吉農業高等学校	倉吉市大谷166	23,418.15	2,884,935,922	増加 増加	R5.6.15 R5.11.29	0.00 0.00	18,942,000 65,237,700	施設改修による 施設改修による		23,418.15	2,969,115,622		
	米子工業高等学校	米子市博労町四丁目220	18,922.49	3,005,513,427	増加 増加 増加 減少 減少	R6.2.13 R6.3.12 R6.3.25 R5.5.29 R5.8.14	138.24 34.41 4.70 △ 9.94 △ 48.00	9,493,000 1,163,842.00 323,158 0 △ 1,000,000	取得 取得 取得 用途廃止による 用途廃止による		19,041.90	3,015,493,427		
	皆生養護学校	米子市上福原七丁目13-4	7,835.17	1,246,562,172	増加	R5.11.8	0.00	935,000	施設改修による		7,835.17	1,318,362,472		
	鳥取聖学校ひまわり分校	米子市上福原七丁目13-1	1,675.94	168,161,603	増加 減少	R5.10.11 R6.3.11	0.00 △ 230.00	16,390,000 △ 3,439,045	施設改修による 用途廃止による		1,675.94	184,551,603		
	日野高等学校(根雨)	日野郡日野町根雨310	8,249.55	1,131,544,055	増加 減少	R6.2.9 R6.3.11	6.00 △ 230.00	495,000 △ 3,439,045	取得 用途廃止による		8,255.55	1,132,039,055		
	倉吉東高等学校	倉吉市下田中町801	13,572.59	1,622,377,656	増加 増加 減少	R6.1.4 R6.1.19 R6.3.11	0.00 34.71 △ 230.00	5,256,900 0 △ 3,439,045	施設改修による 錯誤 用途廃止による		13,607.30	1,627,634,556		
	まなびの森学園	鳥取市湖山町北5丁目201	0.00	0	増加 減少	R5.10.1 R6.3.11	476.52 △ 230.00	47,876,628 △ 3,439,045	所管換による 解体による		476.52	47,876,628	教育センターから	
	(元)境水産高等学校	境港市中野町2000	8,115.37	346,980,307	増加 減少	R5.11.28 R6.3.11	0.00 △ 230.00	0 △ 3,439,045	用途廃止による 解体による		7,885.37	343,541,262		
	計			428,394.18	59,705,100,767			406.64	232,539,483			428,800.82	59,937,640,250	
	普通財産	(内訳) 米子工業高等学校	米子市博労町四丁目220	0.00	0	増加 増加 減少 減少	R5.5.29 R6.8.14 R5.8.23 R6.8.29	9.94 48.00 △ 9.94 △ 48.00	0 1,000,000 0 △ 1,000,000	行政財産から 行政財産から 解体による 解体による		0.00	0	
		(元)境水産高等学校	境港市中野町2000	0.00	0	増加 減少	R5.11.28 R6.3.11	230.00 △ 230.00	3,439,045 △ 3,439,045	行政財産から 解体による		0.00	0	
計			0.00	0			0.00	0			0.00	0		
合計			428,394.18	59,705,100,767			406.64	232,539,483			428,800.82	59,937,640,250		

ウ 山林

(令和6年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	土地の権利区分	機関名又は施設名等	所在地	土地の面積等						立木の推定蓄積量				備考
				前年度末面積(m <sup>2</sup> )	本年度異動状況			本年度末面積(m <sup>2</sup> )	前年度末現在高(m)	本年度中増減高(m)	本年度末現在高(m)			
					増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )					増減理由	登記年月日	
行政財産	(内訳) 県有			1,478,337.01	増加	R				1,478,337.01	17,437.28	0.00	17,437.28	
					減少	R								
計				130,856.30						130,856.30	2,693.10	0.00	2,693.10	
				1,609,193.31			0.00			1,609,193.31	20,130.38	0.00	20,130.38	
		(内訳)												
普通財産	県有			4,816.00	増加	R				4,816.00	5.55		5.55	
					減少	R								
計				4,816.00			0.00			1,614,009.31	5.55	0.00	5.55	
合計				1,614,009.31			0.00			1,614,009.31	20,135.93	0.00	20,135.93	

エ 不動産売却等

該当なし

オ 財産の交換

該当なし

カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)

(令和6年3月31日現在)

区分	前年度末		本年度中の増減(Δ)		本年度末数量	備考
	取得年月日	数量	数量	取得又は処分価格		
行政財産	H15.2.27	1	0		1	若鳥丸(516t)
合計		1	0		1	

キ 物 権

(令和6年3月31日現在)

区 分	前 年 度 末	本 年 度 中 の 増 減 (△)		登 記 又 は 登 録 年 月 日	備 考
		増	減		
行政財産 立木所有地上権	m <sup>3</sup> 130,856.30	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	なし	智頭農林高等学校 智頭町、惣地生産森林 管理組合
合計	130,856.30				

ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等)  
該当なし

ケ 有価証券  
該当なし

コ 出資による権利  
該当なし

(2) 金券類の保有状況  
ア 金券の保有状況  
① 有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和6年3月31日現在)

前年度未使用枚数	本 年 度 中		本年度未使用枚数	備考
	購入枚数	使用枚数及び金額		
30枚	0 枚	0枚 0円	30枚	

(3) 基金  
該当なし

(4) 債 権  
決算資料提出データベースに掲載

11 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	灌漑用水送水管設置	鳥取市湖山町南三丁目512ほか	82.8㎡	R5.3.17	H20.12.26	R5.4.1~R8.3.31	年額・月額 0	0	鳥取市幸町71番地 鳥取市長	
	電力供給配電線施設	鳥取市湖山町南三丁目605-1	本柱5本 支線2本	R5.2.24	H25.2.13	R5.4.1~R10.3.31	年額・月額 12,110	12,110	中国電力ネットワーク株式会社鳥取ネットワークセンター	
	鳥取市道	鳥取市桂木16番3ほか	1205.97㎡	R5.3.1	R5.3.1	R5.4.1~R10.3.31	年額・月額 0	0	鳥取市幸町71番地 鳥取市長	
	住宅進入路	八頭町久能寺714-7ほか	1.96㎡	R5.12.21		R6.1.1~R6.3.31	年額・月額 671	167	個人	
	共同住宅進入路	米子市陰田町380-15	3.00㎡	R5.3.23	R4.3.18	R5.4.1~R6.3.31	年額・月額 3,296	3,296	個人	
計								15,573		
普通財産	米子市道	米子市新開一丁目1400番16	241.00㎡	R5.3.15	S61.4.1	R5.4.1~R8.3.31	年額・月額 0	0	米子市加茂町一丁目1番地 米子市長	無償貸付
	耕作地	西伯郡大山町安原字山下693ほか	27.123㎡	R5.3.29	R5.3.29	R5.4.1~R10.3.31	年額・月額 132,902	132,902	個人	
計								132,902		
合計								148,475		

イ 建物

該当なし

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)

該当なし

12 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受 (使用) 目的	所在地		数量又は 面積 m <sup>2</sup>	契約 書の 有無	契約の状況			借受先 住所 氏名	備考
							借受期間	借料(年)			
								単価	本年度 の借料		
土地	学校 用地	学校 敷地	鳥取西 高等学校	鳥取市東町二丁目 112 外	21,183.22	有	R3.4.1 ～ R6.3.31	年額・月額 5,027,889	5,027,889	鳥取市幸町71番地 鳥取市	
土地	公衆用 道路	林道敷	倉吉農業 高等学校	岡山県苫田郡鏡野町 上齋原字天王西平 1537番地169	2,587.00	有	H26.7.1 ～ R6.6.30	年額・月額 0	0	岡山県苫田郡鏡野町竹田660番地 鏡野町	
土地	宅地	学校 敷地	日野 高等学校	日野町根雨 正面347番地、348番地	866.10	有	R4.4.1 ～ R5.3.31	年額・月額 269,638	269,638	個人	
土地	田 畑 宅地	学校 敷地 実習地	日野 高等学校	日野郡日野町 黒坂字鷹師屋敷 1104 外	10,857.25	有	R4.4.1 ～ R5.3.31	年額・月額 651,326	651,326	個人	
土地	雑種地 宅地	学校 敷地	鳥取東 高等学校	鳥取市立川町五丁目 173番13 外	471.29	有	H17.4.1 ～ R17.3.31	年額・月額 121,573	121,573	鳥取市富安二丁目89-4 国分任契約担当官中国財務局 鳥取財務事務所長	
土地	宅地	学校 敷地	岩美 高等学校	岩美郡岩美町大字 浦富字長樹 722番2 外	211.04	有	H17.4.1 ～ R17.3.31	年額・月額 20,200	20,200	鳥取市富安二丁目89-4 国分任契約担当官中国財務局 鳥取財務事務所長	
土地	宅地	学校 敷地	智頭農林 高等学校	八頭郡智頭町大字 智頭字吉ヶ原 704番1 外	165.78	有	R3.4.1 ～ R6.3.31	年額・月額 35,038	35,038	鳥取市富安二丁目89-4 国分任契約担当官中国財務局 鳥取財務事務所長	
土地	宅地	学校 敷地	米子東 高等学校	米子市博労町四丁目 101番3	33.32	有	R3.4.1 ～ R6.3.31	年額・月額 6,382	6,382	鳥取市富安二丁目89-4 国分任契約担当官中国財務局 鳥取財務事務所長	
土地	雑種地	学校 敷地	米子南 高等学校	米子市長砂町 301番1地先 外	56.14	有	H12.3.1 ～ R12.2.28	年額・月額 13,353	13,353	鳥取市富安二丁目89-4 国分任契約担当官中国財務局 鳥取財務事務所長	
土地	田	実習地	倉吉 養護学校	倉吉市下大江字 折坂407番地	600.00	有	R4.4.1 ～ R5.3.31	年額・月額 0	0	個人	
土地	田	実習地	倉吉 養護学校	倉吉市長坂町 大境684番1 外	1,201.00	有	R4.4.1 ～ R5.3.31	年額・月額 5,644	5,644	個人	
土地	宅地	スクールバス 介助職員 駐車場	米子 養護学校	境港市上道町 3353-6～ 3353-18の1部	15.00	有	R5.4.1 ～ R6.3.31	年額・月額 0	0	境港市上道町3000番地 境港市	
土地	宅地	スクールバス 介助職員 駐車場	皆生 養護学校	境港市上道町 3353-6～ 3353-18の1部	15.00	有	R5.4.1 ～ R6.3.31	年額・月額 0	0	境港市上道町3000番地 境港市	
合計					38,262.14				6,151,043		

13 職員駐車場の管理状況調べ 該当なし

14 寄附物件の受納状況調べ

(令和6年3月31日現在)

品名	規格、 銘柄等	数量	見積金額	寄附 申込 年月日	寄附 申込者氏名	受納 年月日	受納 手続 の有無	備考
行商用 テント	—	32	円 3,088,850	R5.5.31	公益財団法人 長谷育英奨学会 理事長	R5.7.11	有	寄附受納後、直ちに各学 校へ保管換を行った。
図書 DVD・CD	—	720 12	1,967,802	R6.1.25	一般財団法人 鳥取県教育関係職員互助会 理事長	R6.2.5	有	寄附受納後、直ちに各学 校へ保管換を行った。
合 計		764	5,056,652					

15 備品の処分状況調べ 該当なし

16 貸付金等状況調べ 該当なし

○ 意見、要望等

(1)業務に関する意見・要望等

国費事務において使用する「会計業務電子決裁基盤・証拠書類管理システム(ELGA)」の決裁者設定について、起案にあたり、同システムの登録職員から自所属及び会計指導課の確認・決裁者(事業によるが当課では8名程度)を選択するが、登録職員が順不同(不規則)で一列の並びから選択する仕様となっており、検索もできず、該当者を探すことに多くの時間を費やしている。また、確認・決裁者と似た名前の職員を誤って登録する恐れもある。初回選択後はひな形登録により、次回以降の手間はやや省けるものの、年度替わり・人事異動等により決裁者が変われば再度の選択が必要になることから、会計指導課におかれては、登録職員の並びの規則化についてシステム提供元と御協議いただくか、会計指導課決裁者のみのひな形を作成し各所属が共通して使用できるようにするなど、国費決裁事務の効率化について御検討をいただきたい。

(2)監査委員事務局に対する要望等

財産に関する調べについて、本庁においても地方機関分を記載することになっているが、地方機関においても調書に記載している。本庁においては記載省略としていただきたい。